



水田生態系ネットワークの再生

Restoring the ecological network in paddy field

水田、農業用水路、河川はかつてはつながっており、メダカなどの魚類は水域を自由に往来できました。しかし、水路改修やほ場整備により水域のつながりが分断され、魚類にとって棲(す)みやすい環境は少なくなりました。

そこで、水田生態系ネットワークの再生をはかるため、管理が容易で少な

い流量でも遡上が可能な「半円形コルゲート管魚道」と魚類が棲息できる水深と流速を確保する「魚道付き転倒堰(てんとうぜき)」を開発しました。

生物多様性保全の取組みとして、2009年度から県内9地域10か所で住民参加による魚道の設置・維持管理・観察会等が行われています。(環境基盤研究部)



(音声コード)

